

### (3) 看護福祉学部（看護学科/臨床福祉学科）

看護福祉学部は、本学の教育理念にある「保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人の養成」を目的としている。そのため、カリキュラム編成においては、「看護と福祉の連携・統合」を積極的に展開できるように、両学科を密接に関連付けた科目を充実させている。

2008年度に臨床福祉学科に教職課程を開設し、「公民」、「福祉」の高等学校教諭第1種免許状及び特別支援学校教諭第1種免許状を取得できるようにしたほか、2009年度に全学教育科目を導入、さらに、2011年度に指定規則の改正を受けて、看護学科のカリキュラム変更を行い、2012年度入学生から保健師国家試験受験資格を卒業要件ではなく、選択制とした。臨床福祉学科においても、介護福祉士養成コースにおける「医療的ケア」領域の追加等、カリキュラム変更を行っている。

#### 【看護学科】

##### 教育理念

本学の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、総合的なヒューマンケアを担う看護専門職業人を養成することにより、地域社会や人々の健康の向上に貢献することを看護福祉学部看護学科の教育理念とする。

##### 教育目的

看護福祉学部看護学科の教育理念に沿って、人々の健康と福祉の向上のために、看護と福祉を総合的に俯瞰した専門的知識・技術を修得し、人々の尊厳を守り、維持するための総合的ヒューマンケアを実践できる看護師や保健師など看護専門職業人の養成を本学科の教育目的とする。

##### 教育目標

看護福祉学部看護学科の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

1. ヒューマンケアに関する深い教養および豊かな人間性の涵養
2. ヒューマンケアを基本とした看護専門職に必要な知識・技術の修得
3. 看護専門領域における自律的・創造的な実践力の涵養
4. ヒューマンサービスに関連する領域の人々と連携できる協調性の確立
5. 地域社会や人々の多様性を理解する能力の涵養

##### 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

看護福祉学部看護学科の教育目標に基づき、卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

1. 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。
2. 看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。
3. 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。
4. 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。
5. 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

##### 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

看護福祉学部看護学科の学位授与の方針に基づき、以下の方針のもとで教育課程を編成・実施する。

1. 看護学科の教育理念を積極的に展開するために、ヒューマンケアの要素である4領域「人間」、「環境」、「健康」、「実践」を設定し、それらの概念を基本として、各領域における授業科目間の順次性と体系性を保つように科目を配当する。
2. 1年次では、学修動機の明確化を図り、豊かな人間性や協調性、国際的視野を身につけるための全学教育科目、看護専門職に必要な基礎的知識および看護と福祉に共通するケアマインドを修得するための科目を配当する。
3. 2年次では、看護専門職に必要な専門基礎知識・技術、および様々な人々を対象とした看護学の知識と援助方法を修得するための科目を配当する。
4. 3年次では、2年次までの学修成果の上に立ち、看護専門職に必要な知識と技術を深めるための講義、演習および実習科目を配当する。また、ヒューマンサービスにおける多職種連携にむけた協調性を身につけるための科目を配当する。
5. 4年次では、3年次までの学修成果の上に立ち、理論と実践に習熟し、自らの専門領域を発展させる能力を養成するための実習、専門演習、卒業研究を配当する。
6. 主体的な学修を促すために、講義・演習の事前事後の学修課題を提示するとともに、グループワークや発表を取り入れる。
7. 学修成果を把握・評価するために、筆記試験、ルーブリックを用いたレポート、実技試験などを実施する。

##### 入学受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

看護福祉学部看護学科では、学位授与の方針の要件を修得し、総合的ヒューマンケアを実践し地域社会や人々の健康の向上に貢献できる看護専門職の養成を目標としています。そのため、以下のような資質を持った人材を広く求めます。

1. 保健・医療・福祉に関心があり、看護を通じて社会に貢献しようとする意欲がある人
2. 生命を尊重し、他者を理解し、大切に思う心がある人
3. 看護学を学ぶための基礎学力\*を有し、高い学修意欲および探求心のある人
4. 看護専門職として保健・医療・福祉の現場で活躍したいという強い意志を持つ人
5. 看護専門職として最新の知識・技術を常に学び続けようとする人

##### \*基礎学力について

英語、数学、国語を高等学校等で履修しており、生体の成り立ちや活動を理解するうえで必要となる化学、生物、物理、大学のリベラルアーツ教育の基本となる世界史、日本史、地理、現代社会、政治・経済について、少なくとも1科目以上を履修していることをさします。

## 【臨床福祉学科】

### 教育理念

本学の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、総合的なヒューマンケアを担う福祉専門職業人を養成することにより、地域社会や人々の福祉の向上に貢献することを看護福祉学部臨床福祉学科の教育理念とする。

### 教育目的

看護福祉学部臨床福祉学科の教育理念に沿って、人々の健康と福祉の向上のために、看護と福祉を総合的に俯瞰した専門的知識・技術を修得し、人々の尊厳を守り、維持するための総合的ヒューマンケアの観点から社会福祉士や精神保健福祉士など臨床現場をはじめ、保健・福祉・行政などの場でリーダーとして活躍できる専門職業人の養成を本学科の教育目的とする。

### 教育目標

看護福祉学部臨床福祉学科の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

1. ヒューマンケアに関する深い教養および豊かな人間性の涵養
2. ヒューマンケアを基本とした福祉専門職に必要な知識・技術の修得
3. 福祉専門領域における自律的・創造的な実践力の涵養
4. ヒューマンサービスに関連する領域の人々と連携できる協調性の確立
5. 地域社会や人々の多様性を理解する能力の涵養

### 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

看護福祉学部臨床福祉学科の教育目標に基づき、卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

1. 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。
2. 福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。
3. 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。
4. 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。
5. 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

### 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

看護福祉学部臨床福祉学科の学位授与の方針に基づき、以下の方針のもとで教育課程を編成・実施する。

1. 臨床福祉学科の教育理念を積極的に展開するために、ヒューマンケアの要素である4領域「人間」、「環境」、「健康」、「実践」を設定し、それらの概念を基本として、各領域における授業科目間の順次性と体系性を保つように科目を配当する。
2. 1年次では、学修動機の明確化を図り、豊かな人間性や協調性、国際的視野を身につけるための全学教育科目、福祉専門職に必要な基礎的知識および看護と福祉に共通するケアマインドを修得するための科目を配当する。
3. 2年次では、福祉専門職に必要な専門基礎知識および様々な人々を対象とした知識と援助方法を修得するための専門教育科目を配当する。
4. 3年次では、2年次までの学修成果の上に立ち、福祉専門職に必要な知識と技術を深めるための講義、演習および実習科目を配当する。また、ヒューマンサービスにおける多職種連携にむけた協調性を身につけるための科目を配当する。
5. 4年次では、3年次までの学修成果の上に立ち、理論と実践に習熟し、自らの専門領域を発展させる能力を養成するための実習、専門演習、卒業研究を配当する。
6. 主体的な学修を促すために、講義・演習の事前事後の学修課題を提示するとともに、グループワークや発表を取り入れる。
7. 学修成果を把握・評価するために、筆記試験、ルーブリックを用いたレポート、実技試験などを実施する。

### 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

看護福祉学部臨床福祉学科では、学位授与の方針の要件を修得し、総合的ヒューマンケアを実践し地域や人々の福祉の向上に貢献できる福祉専門職の養成を目標としています。そのため、以下のような資質を持った人材を広く求めます。

1. 保健・医療・福祉に関心があり、福祉を通じて社会に貢献しようとする意欲がある人
2. 生命を尊重し、他者を理解し、大切に思う心がある人
3. 臨床福祉学を学ぶための基礎学力\*を有し、高い学修意欲および探求心のある人
4. 福祉専門職として保健・医療・福祉の現場で活躍したいという強い意志を持つ人
5. 福祉専門職として最新の知識・技術を常に学び続けようとする人

#### \*基礎学力について

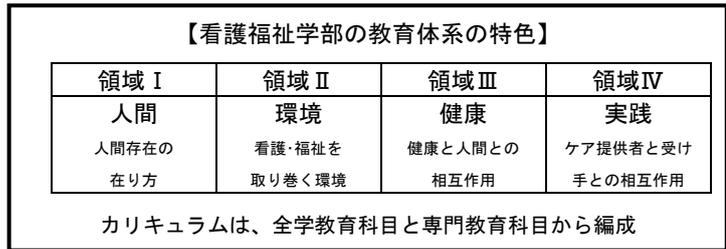
英語、数学、国語を高等学校等で履修しており、生体の成り立ちや活動を理解するうえで必要となる化学、生物、物理、大学のリベラルアーツ教育の基本となる世界史、日本史、地理、現代社会、政治・経済について、少なくとも1科目以上を履修していることをさします。

○ 看護福祉学部カリキュラムの特色

看護福祉学部では、これまで個々に行ってきた看護教育と福祉教育の連携を図り、保健・医療・福祉に関するヒューマンケアの総合的な研究を促進、相互理解が深められるよう、両学科に共通する科目や相互に交流する科目を設けている。さらに、科目が共通するだけでなく、両学科のカリキュラムに共通する概念として、次の4つの領域を設けている。

【教育体系】

- I. 人間 [人間存在の在り方]
- II. 環境 [看護・福祉を取り巻く環境]
- III. 健康 [健康と人間との相互作用]
- IV. 実践 [ケア提供者と受け手との相互作用]



4領域のいずれかに「全学教育科目(2009.4から学部共通基礎科目に替えて導入)」・各学科「専門教育科目」のすべてを必ず位置付けることにより、全課程を通じ、科目間の密接な関連付けが一貫して保たれることとなる。また、講義、演習及び臨地実習を系統的に学べるよう配慮し、学年に従って、より高度で実践的な内容が学習できるよう構成している。こうしたことにより、全学教育科目と専門教育科目との融合とともに、共通の考え方の上にそれぞれの専門知識・技術を持ったスペシャリストの育成をめざしている。

これまでに、精神保健福祉士指定科目の新設(2000)、学部再編と併せた学科改編(2002)、全学教育科目の導入によるカリキュラム再編成(2009)、その他指定規則改正に伴うカリキュラム改正を行い、教育の充実を図ってきている。

○ カリキュラムの特徴

① 全学教育科目

教養教育、基礎教育、医療基盤教育の各科目を概ね1～2年次に履修する。

② 専門教育科目

・看護学科

2012年4月から、選択制の保健師養成コース(定員15名)を開設するとともに、看護実践能力を高めるために看護実践演習を開講し、OSCEを導入した。

・臨床福祉学科

社会福祉士・精神保健福祉士指定科目の改正に伴い、専門科目の名称変更等、科目を再編した。

・その他

自由選択科目として総合講義を4年後期で開講し、国家試験対策等を充実させた。

③ 臨床福祉学科履修コース

専門領域ごとに3コース(保健福祉臨床、精神保健福祉、介護福祉)で履修する。

・保健福祉臨床コース：施設や地域で福祉に関する実践的な直接援助に携わる人材の育成  
(取得できる資格)社会福祉士国家試験受験資格

・精神保健福祉コース：精神保健福祉関係の病院施設での相談援助に携わる精神保健福祉士の育成  
(取得できる資格)社会福祉士国家試験受験資格、精神保健福祉士国家試験受験資格

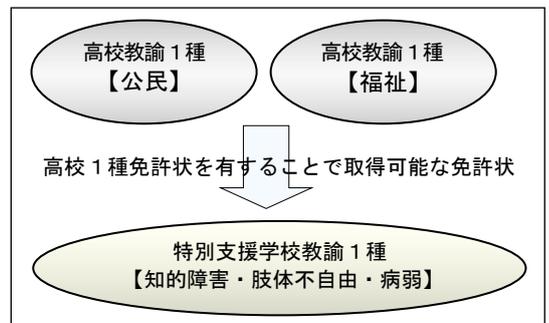
・介護福祉コース：対象者の援助に指導的役割を担える介護福祉士の育成  
(取得できる資格)社会福祉士国家試験受験資格、介護福祉士国家試験受験資格

\* 各コースで取得できる資格のほか、社会福祉主事等の福祉専門職の任用資格が取得できる。



○ 教職課程

2008年4月から臨床福祉学科に開設した。教員免許状を取得するため、「教職入門」、「教育原理」、「教育実習」等の教職に関する科目のほか、特別支援学校教員免許状を取得する科目等、所定の科目を履修する。なお、履修するコース(前述)によって、取得できる教員免許状が異なる。



○ スクールソーシャルワーク教育課程

2014年に臨床福祉学科に開設した。「スクール(学校)ソーシャルワーク演習」、「スクール(学校)ソーシャルワーク実習」等の所定の科目を履修し、社会福祉士または精神保健福祉士として登録を受けた者に「一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟認定スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程修了者」として修了証が交付される。

○看護福祉学部カリキュラム  
看護福祉学部(看護学科・臨床福祉学科)  
全学教育科目

種類	科目区分	授業科目 下線:専任教員担当科目	担当	単位数		開講年次・時間数								備考
						1年		2年		3年		4年		
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
教養教育	導入科目	基礎ゼミナール	井上 ほか	2	30									2単位以上修得
	教養科目	人間と思想	森元	2	30									3授業科目6単位以上修得
			磯部	2	30									
		人間と文化	花淵 ほか	2	30									
			井上	2	30									
人間と社会	志水(幸) ほか/ 薄井	2	(30)											
基礎教育	外国語科目	英語Ⅰ	ホガード ほか/チェン ほか	1			30						必修科目を含め6単位以上修得	
			ホガード ほか	1			30							
		英語Ⅱ	鎌田(禎)/塚越	1	30									
			足利 ほか/鎌田(禎)	1	30									
			鎌田(禎)/竹内	1	30									
			鎌田(禎)	1	30									
	初修外国語	染木/阿部/呉/韓	1	(30)										
		染木/阿部/呉/韓	1	(30)										
	健康・運動科学科目	健康・運動科学	山口 ほか	2	30								看護学科は必修科目を含め8単位以上修得	
		健康・運動科学演習	山口 ほか	1	30									
	情報科学科目	情報科学	二瓶 ほか	2	30								臨床福祉学科は必修科目を含め6単位以上修得	
			情報処理演習	二瓶/長谷川(聡)	1	30								
		統計学	志渡	2	30									
	自然科学科目	物理学	長谷川(敦)	2	30									
		化学	鈴木(喜)	2	30									
生物学		新岡	2	30										
人文社会科目	社会学	薄井	2	30								看護学科は8単位以上修得 臨床福祉学科は10単位以上修得		
		経済学	金盛	2	30			30						
	法学	姫嶋	2	30										
		姫嶋	2	30										
	人類学	花淵	2	30										
		花淵	2	30										
	心理学	安部	2	30										
医療基盤教育	医療基盤科目	地域連携	高橋	2	30									
		多職種連携	福井 ほか/長谷川 ほか	2	30									
				1				30						
		2								30				
全学教育科目 合計32単位以上修得(うち必修、看護学科8単位、臨床福祉学科8単位)														

\*時間数を( )で記載している授業科目は、当該期(前期又は後期)に複数の授業題目により行われる場合があることを示す。

看護福祉学部(看護学科)  
専門教育科目

分類	授業科目 ※下線:専任教員担当科目	担当	単位数		開講年次・時間数								備考				
					1年		2年		3年		4年			計			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
I	看護学原論	平	2		30									30	必修科目12単位以上修得		
	人間発達論	今井	2		30									30			
	看護福祉学入門	常田 ほか	2			30								30			
	臨床心理学	森	2			30								30			
	看護倫理	塚本 ほか	2						30					30			
	看護管理論	福井 ほか	2										30	30			
	コミュニケーション論	長谷川		2			30							30			
II	福祉と当事者のリアル I	大原 ほか		2	30									30	必修科目8単位以上修得		
	社会福祉概論	志水(朱)	2		30									30			
	家族関係論	鈴木(幸)	2			30								30			
	公衆衛生学	西	1				30							30			
	疫学	西	1					30						30			
	保健統計	西	1						30					30			
III	保健医療福祉行政論 I	工藤 ほか	1					15						15	必修科目20単位以上修得		
	医学原論	小林 ほか	1		30									30			
	人体構造機能学 I	濱田	1		30									30			
	人体構造機能学 II	倉橋	1		30									30			
	人体構造機能学 III	濱田	1			30								30			
	人体構造機能学 IV	倉橋	1			30								30			
	人体構造機能学演習	濱田 ほか	1				30							30			
	生化学		1					30						30			
	微生物学	小林	1			30								30			
	薬理学	平野	1				30							30			
	病理学 I	濱田	1				30							30			
	病理学 II	濱田	1					30						30			
	食物学	野原 ほか	1					30						30			
	成人病態論 I	小林	1						30					30			
	成人病態論 II	小林	1							30				30			
	成人病態論 III	唐津 ほか	1								30			30			
	小児病態論	木浪 ほか	1								30			30			
	母性病態論	遠藤(紀) ほか	1								30			30			
	精神病態論	宮地 ほか	1									30		30			
	老年病態論	山田 ほか	1									30		30			
	リハビリテーション法	坂上 ほか	1									30		30			
	IV	看護技術論	平 ほか	1			30									30	必修科目60単位以上修得
		看護技術基礎演習	明野(伸) ほか	1			30									30	
看護技術各論 I		明野(伸) ほか	1				30							30			
看護技術各論 II		明野(伸) ほか	1					30						30			
看護技術演習 I		明野(伸) ほか	1					30						30			
看護技術演習 II		明野(伸) ほか	1						30					30			
母性看護学		常田	2						30					30			
母性看護学演習		遠藤(紀) ほか	1							30				30			
小児看護学		三国 ほか	2							30				30			
小児看護学演習		加藤 ほか	1								30			30			
成人看護学		唐津 ほか	2				30							30			
成人看護各論 I		高木 ほか	1					30						30			
成人看護各論 II		神田 ほか	1						30					30			
成人看護各論 III		熊谷 ほか	1							30				30			
成人看護学演習		伊藤 ほか	1								30			30			
がん看護学		熊谷 ほか	2								30			30			
老年看護学		山田 ほか	2									30		30			
老年看護学演習		内ヶ島 ほか	1									30		30			
精神看護学		宮地 ほか	2							30				30			
精神看護学演習		八木 ほか	1									30		30			
在宅看護学		竹生 ほか	2								30			30			
在宅看護学各論		川添 ほか	1									30		30			
在宅看護学演習		川添 ほか	1										30	30			
公衆衛生看護学概論		工藤 ほか	2						30					30			
公衆衛生看護学活動展開論 I		工藤	1							15				15			
公衆衛生看護学活動展開論 II		工藤	2								30			30			
公衆衛生看護学活動展開論 III		新納	2									30		30			
公衆衛生看護管理論		工藤 ほか	1										15	15			
クリティカルケア		神田 ほか	1								15			15			
皮膚・排泄ケア		平島	1										15	15			
感染管理		塚本 ほか	1										15	15			
看護実践演習		遠藤 ほか	1								30			30			
基礎看護学実習		明野(伸) ほか	3									135		135			
母性看護学実習		常田 ほか	2										90	90			
小児看護学実習		三国 ほか	2										90	90			
成人看護学実習 I		熊谷 ほか	4										180	180			
成人看護学実習 II		神田 ほか	4										180	180			
老年看護学実習		内ヶ島 ほか	4										180	180			
精神看護学実習		八木 ほか	2										90	90			
在宅看護学実習		竹生 ほか	2										90	90			
卒業研究	熊谷 ほか	3											90				
保健師 教育課程	公衆衛生看護学活動展開論 IV	工藤 ほか	2										60	60	保健師養成コースは 13単位すべて必修		
	公衆衛生看護学活動展開論 V	明野(聖) ほか	2										60	60			
	健康教育論	明野(聖) ほか	2										60	60			
	保健医療福祉行政論 II	明野(聖) ほか	2										30	30			
	公衆衛生看護学実習	工藤 ほか	5										225	225			
自由選択科目	看護総合講義	山田 ほか		2									30	30	自由選択科目※卒業単位に 含まない		
専門教育科目 合計100単位以上修得																	
看護学科 合計132単位以上修得																	

看護福祉学部(臨床福祉学科)  
専門教育科目

分類	授業科目 ※下線:専任教員担当科目	担当	単位数		開講年次・時間数								備考		
			必修	選択	1年		2年		3年		4年			計	
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
I	社会福祉原論	志水(幸)	4					30	30					60	
	看護福祉学入門	松本(望)ほか	2				30							30	
	社会心理学	薄井	2	2			30							30	
	ソーシャルワーク入門	松本(望)ほか	2			30								30	
	福祉哲学と倫理	水野		2								30		30	
	介護コミュニケーション論	長谷川		4			30	30						60	
	コミュニケーション論	長谷川		2			30							30	
	福祉と当事者のリアルⅠ	大原 ほか		2	30									30	
	福祉と当事者のリアルⅡ	大原 ほか		1				15						15	
	臨床福祉学導入演習	池森 ほか		1	30									30	
	社会保険論	大友 ほか		4			30	30						60	
	公的扶助論	大友		2			30							30	
	地域福祉論	中田		4			30	30						60	
児童福祉論	片山 ほか			2			30						30		
障害者福祉論	近藤			2			30						30		
家族福祉論	奥田 ほか			2				30					30		
高齢者福祉論Ⅰ	池森			2		30							30		
高齢者福祉論Ⅱ	松本(望)			2			30						30		
医療福祉論	巻			2				30					30		
医療ソーシャルワーク実践論	巻			2					30				30		
スクールソーシャルワーク論	福岡			2				30					30		
精神保健福祉論Ⅰ	鈴木(和)			2			30						30		
精神保健福祉論Ⅱ	佐藤(園)			2				30					30		
精神保健福祉論Ⅲ	佐藤(園)			2					30				30		
福祉行政・福祉計画論	志水(幸)		2				30						30		
民法	齋藤			2					30				30		
行政法	佐久間			2						30			30		
医学一般	百野		2				30						30		
医学原論	小林 ほか			1	30								30		
精神医学Ⅰ	土田 ほか			2			30						30		
精神医学Ⅱ	土田 ほか			2				30					30		
精神保健学Ⅰ	佐々木(敏)ほか			2				30					30		
精神保健学Ⅱ	佐々木(敏)ほか			2					30				30		
公衆衛生学	志渡 ほか			2	30								30		
薬理学	柴山			2			30						30		
リハビリテーション論	鎌田(樹) ほか			2				30					30		
アダプテッド・スポーツ演習	近藤			1			30						30		
保健医療福祉情報論	長谷川			2				30					30		
障害基礎医学	近藤 ほか			2			30						30		
心身機能構造論	今野			2				30					30		
認知症ケア論	松本(望)			2			30						30		
ソーシャルワーク論Ⅰ	志水(幸) ほか			4	30	30							60		
ソーシャルワーク論Ⅱ	福岡 ほか			4			30	30					60		
ソーシャルワーク論Ⅲ	大友 ほか			4					30	30			60		
精神保健福祉ソーシャルワーク論	鈴木(和)			2			30						30		
社会福祉調査法	志渡			2					30				30		
社会福祉運営管理論	松本(剛)			2					30				30		
介護管理論				2							30		30		
就労支援論	辻(伸)			1						15			15		
権利擁護・成年後見制度論	松本(望)		2								30		30		
更生保護制度論	佐藤(園)			1							15		15		
ソーシャルワーク演習Ⅰ	片山 ほか			1		30							30		
ソーシャルワーク演習Ⅱ	福岡 ほか			2			30	30					60		
ソーシャルワーク演習Ⅲ	巻 ほか			2				30	30	30			60		
ソーシャルワーク基礎実習指導	近藤 ほか			1			30						30		
ソーシャルワーク基礎実習	近藤 ほか			1				40					40		
ソーシャルワーク実習指導	巻 ほか			2					45	45			90		
ソーシャルワーク実習	巻 ほか			4						180			180		
介護概論Ⅰ	志水(朱)			4	30	30							60		
介護概論Ⅱ	志水(朱)			4		30	30						60		
介護概論Ⅲ	今野			4				30	30				60		
生活支援技術論Ⅰ	池森			4	30	30							60		
生活支援技術論Ⅱ	池森 ほか			4			60						60		
生活支援技術論Ⅲ	池森 ほか			4				60					60		
生活支援技術論Ⅳ	今野			2					30				30		
生活支援技術論Ⅴ	加藤			4					60				60		
生活支援技術論Ⅵ	池森 ほか			2							30		30		
医療的ケア	下山			7					75	30			105		
実地研修Ⅰ	下山			0.5								15	15		
実地研修Ⅱ	下山			0.5								15	15		
実地研修Ⅲ	下山			0.5								15	15		
実地研修Ⅳ	下山			0.5								15	15		
実地研修Ⅴ	下山			0.5								15	15		
介護過程論Ⅰ	高橋(由)			2		30							30		
介護過程論Ⅱ	高橋(由)			4			30	30					60		
介護過程論Ⅲ	高橋(由)			4					30	30			60		
介護総合演習Ⅰ	池森 ほか			1	15	15							30		
介護総合演習Ⅱ	志水(朱) ほか			1				30					30		
介護総合演習Ⅲ	高橋(由) ほか			1					15	15			30		
介護総合演習Ⅳ	高橋(由) ほか			1							30		30		
介護実習Ⅰ	池森 ほか			1	45								45		
介護実習Ⅱ	志水(朱) ほか			3				135					135		
介護実習Ⅲ	高橋(由) ほか			2						90			90		
介護実習Ⅳ	高橋(由) ほか			4							180		180		
精神保健福祉の理論と方法Ⅰ	向谷地			4					30	30			60		
精神保健福祉の理論と方法Ⅱ	向谷地			4							30	30	60		
精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅰ	向谷地 ほか			1						30			30		
精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅱ	向谷地 ほか			1							30		30		
精神保健福祉ソーシャルワーク実習	向谷地 ほか			5							210		210		
精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	向谷地 ほか			1						45			45		
精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	向谷地 ほか			1							45		45		
ソーシャルワーク応用実習	近藤 ほか			4							180		180		
ソーシャルワーク応用実習指導Ⅰ	近藤 ほか			0.5						15			15		
ソーシャルワーク応用実習指導Ⅱ	近藤 ほか			1							45		45		
地域共生社会演習Ⅰ	大原			2					60				60		
地域共生社会演習Ⅱ	大原			1							30		30		
臨床福祉専門演習Ⅰ	臨床福祉学科教員			1						30			30		
臨床福祉専門演習Ⅱ	臨床福祉学科教員			2							30	30	60		
卒業論文	臨床福祉学科教員			4							30	30	60		
社会福祉研究法	志水(幸) ほか			1						15			15		
臨床福祉総合講義	松本(望) ほか			4							30	30	60		
現代社会論	薄井			2								30	30		
スクールソーシャルワーク	スクール(学校)ソーシャルワーク演習	福岡 ほか		1						30			30	※卒業単位に含まない	
教育課程	スクール(学校)ソーシャルワーク実習指導	福岡 ほか		2								30	30		
	スクール(学校)ソーシャルワーク実習	福岡 ほか		2								80	80		

専門教育科目 合計98単位以上履修  
臨床福祉学科 合計130単位以上履修